

若葉のまぶしい季節になりました。4月に入社した新人さんたちも新しい環境に少しずつなじんできたころでしょうか。

さて、今月のRRRでは「基礎研究」を特集しました。実用技術である鉄道における基礎研究は、未知の謎を解き明かすいわゆるサイエンスとしての基礎研究とは異なり、あくまで鉄道技術として役立つことを目指したものです。また、鉄道はさまざまな分野の技術の組み合わせから成り立っていることから、一口に基礎研究といっても扱う内容やアプローチは非常に多岐にわたります。本特集では、鉄道総研における基礎研究の位置づけと取り組みに対する総論から始め、数値計算技術から斜面崩壊

のメカニズム解明、ナノ処理による材料物性の制御に関する話題など、幅広いテーマについて各分野の第一線の研究者による読み応えのある解説をそろえました。

また、鉄道の信号に特有な軌道回路を取り上げた「来し方行く末」、富士登山鉄道に関する「鉄道総研の技術遺産」など、今号の連載記事も興味深いものが並びました。特集記事と併せてこれらの連載記事もお楽しみいただくと幸いです。

そろそろ雨の季節にさしかかりますが、次の6月号の特集は「水」を予定しています。どうぞご期待ください。(T.T.)